

ヒットする曲の歌詞分析

国語班：浅田若奈 荒瀬巧笑 坂口さくら

1. はじめに

今日、世界中にはたくさんの曲が溢れているが、ヒットする曲とヒットしない曲がある。曲がヒットする要因にはメロディーや歌詞、話題性など様々な要素が考えられる。その中で私たちはヒットする曲の共通点を調べるために歌詞に焦点を当て、分析・考察した。

2. 調査方法

(1) 仮説

ヒットする曲には

- ①キャッチーな歌詞が多い
- ②英語のフレーズがある
- ③ラブソングが多い
- ④共感できるまたは理想を歌った歌が多い

しかし、仮説①のキャッチーな歌詞というのは主観に基づくものなので分析不可能と判断し、他の3つの仮説を検証した。

(2) アンケート

分析を行う曲を決めるため、曲を選ぶアンケートを高津高校 1, 2 年生対象に実施した。その結果全 539 曲中上位 59 曲をヒットしている曲とみなし、反対に、アンケート上位 30 曲のアーティストのシングルの中で下位の曲（アーティストに重複があったため全 19 曲）をヒットしていない曲とみなした。この2つに分けた曲を用いて歌詞や曲の背景などを調査し、また、異なる2種類の分析を行った。

(3) 分析Ⅰの方法

上記のヒットしている曲のジャンル、背景、歌詞を調査・分析した。

(4) 分析Ⅱの方法

ヒットする曲の共通点を探すため、ヒットしている曲の歌詞で複数の曲にわたって用いられている言葉を調査した。同様の調査をヒットしていない曲を対象にも行い、両者の結果を比較した。

3. 結果

(1) 分析Ⅰの結果

- ①英語が1フレーズ以上入っているものが多い

- ②タイトルが歌詞に入っているものが多い
- ③タイアップしているものが多い
- ④1人称で多いのは「僕」
- ⑤2人称で多いのは「君」
- ⑥ラブソングが多い

ラブソングがヒットしている曲の 67.7%を占めていたので、ヒットしていない曲でも分析した。すると、ヒットしていない曲ではラブソングは 15.7%であった。

(2)分析Ⅱの結果

ヒットしている曲の歌詞を分析すると、過半数を超えたものは多かったものから順に、「僕」「君」「夢」だった。このうち「僕」と「君」は人称であるから歌詞の内容には影響を及ぼさないとし、分析対象とはしなかった。「夢」はヒットしていない曲の歌詞にも過半数を超えて用いられていた。

4. 考察

アンケート対象が恋愛に興味を示しやすい高校生であったため、ラブソングが多くなったと考えた。しかし、高校生に限らず恋愛に興味を示すのではないかと考え、調査したところ『石上私淑言』より、古くより恋を歌った曲が良い評価を受けることが分かった。

『石上私淑言』現代語訳

歌は恋を第一のものとするを分からなくてはならない。そもそもどういうわけで、こうであるかという、恋は全ての情趣にまさって深く人の心に染みて、大変こらえ難い事柄であるからだ。それなので、大変しみじみと趣深いものは恋の歌にこそ多いものだ。

また、ヒットの有無に関わらず多くの歌詞に「夢」という言葉が用いられていることから、ヒットしている曲の歌詞にのみ共通する言葉は少ない。したがって、ヒットしている曲の歌詞にはそれぞれ独自の世界観をもつ特有の言葉が用いられていると考察した。

5. 結論

これらの研究を活かして今後はヒットするような歌詞の作成にも取り組んでいきたい。

6. 参考文献及び参考 web ページ

平成 29 年度センター試験国語第三問古文

ORICON NEWS <https://www.oricon.co.jp/rank/>

歌詞検索サービス Uta-Net <https://www.uta-net.com/>